



“こんなまちだったらいいな” 芦川町

住民全員がボランティア!!

かけはし
H29夏号の
第3次地域
福祉活動
計画概要版と
合わせてご覧ください









《経過》

芦川町は高齢者人口は約 6 割を占める過疎地域ですが、住民の皆さんは「みんなで支えあうのが当たり前」と、普段から男衆ボランティア活動をはじめとするさまざまな支え合い活動を行なっています。また、自然豊かで美しく、食べ物が美味しいわが町を誇りに思い、未来につないでいきたいと普段から地域おこしワーキングや話し合いを重ねています。

今回の座談会では、人口の1割を超える 50 名以上が参加して熱心に意見を出し合いました。芦川のいいところとしては「ボランティア活動はさかん」「みな顔見知り」「近所との支えあいは当たり前」などの意見が聞かれ、逆に困ったところ・気になることとして、「後継者が育たないこと」「一人暮らしの高齢者が多く心配」や「移住者との交流が少ない」などが聞かれました。そこで、地域の人との支えあいによってできそうなことを出し合い、今まで以上に意識をもって以下の活動をしていくことを目標にしました。

サブテーマは、人口減少や高齢化等の困りごとに対処していくために、日頃から合言葉にしている“住民全員がボランティア”とし、何事も皆で協力していくことを共有しました。

《実践すること》

	<p>皆で気軽に見守り・声かけしましょう</p> <p>具体的に…一人暮らし高齢者の健康状態を把握するため、日々の生活の中で、皆で挨拶から見守り・声かけしましょう。</p>
	<p>区毎の地図をつくりましょう</p> <p>具体的に…緊急時にも区民の安全を守るため、地域福祉推進委員を中心として人家・住人が明確にわかるような区毎の地図をつくりましょう。</p>
	<p>移住してきた住民も地域の仲間になれるような働きかけをしましょう</p> <p>具体的に…仲間意識をもってもらえるよう年に数回地域を知ってもらう機会をつくり、区役員さんと住民皆で組加入を勧めましょう。</p>
	<p>住民全員でボランティアをしましょう</p> <p>具体的に…地域が崩壊してしまわないよう、高齢者は参加することもボランティア!を意識して送迎や生活の中での支援等町民全員が様々な形でボランティアをしましょう。</p>
	<p>軽スポーツを推進しましょう</p> <p>具体的に…高齢化で介護予防が益々必要なため、スポーツ委員が中心になり毎日皆でゲートボールやグラウンドゴルフなどの軽スポーツを推進、実施しましょう。</p>
	<p>伝統行事を継続しましょう</p> <p>具体的に…地域福祉推進委員は、コミュニティーを再生維持するため、毎年6月、伝統行事である“3月飯”を住民・出身者に呼びかけながら継続しましょう。</p>

みんなで
やっていく
じゃん



話し合う
プロセスが
大事

〈お問い合わせ〉

笛吹市社会福祉協議会
芦川地域事務所

〒409-3704 笛吹市芦川町鶯宿 466-1 (芦川ふれあいプラザ内)
TEL.055-298-2170 FAX.055-298-2172